

このたびはパルの可動間仕切り壁フリーウォールをお買い上げいただきありがとうございました。
施工前に本書をよくお読みの上製品を正しく施工していただきますようお願いいたします。

1. 安全上のご注意

設置工事の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置して下さい。

●表示内容を守らず誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。



この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

●工事完了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめて下さい。

●本書とは別にお客様用「安全確保のための手引」が製品に同梱されておりますので、紛失や汚れのないように保管し、工事完了後確実にお客様にお渡しください。

注意



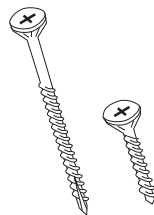
本商品は上吊り式のため上レール及び上枠を取り付ける箇所の下地は十分な強度を確保して下さい。



扉が下がって開閉に支障をきたします。



組立には同梱のビス以外は使用しないで下さい。



レールの落下などの原因となります。

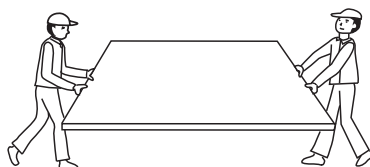


直貼り防音フロアなど床面が収納物などの重量により沈む恐れがある場合はキワ根太処理をし、床面が沈まないようにして下さい。

下レールから扉が外れる恐れがあります。



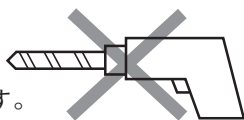
1.5間、2.0間の枠は必ず2人で運搬などの作業を行って下さい。



落下によるけがの恐れがあります。



組立で電動ドライバーを使用する場合はトルクを弱めてご使用下さい。



商品破損の原因となります。

2. その他のご注意

粘着テープなどは直接表面に貼らないで下さい。剥がす時に塗膜を傷める恐れがあります。



本製品は室内専用に設計しておりますので屋外では使用しないでください。



常時水のかかるところや、湿気が多い所で使用は避けてください。



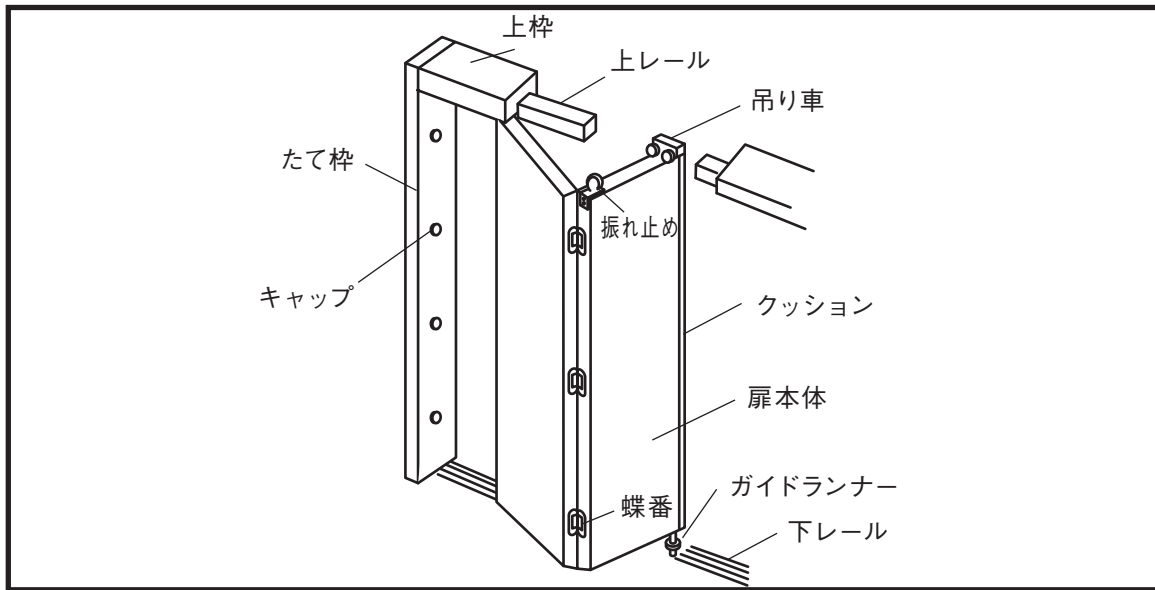
汚れはやわらかい布を使用し落としてください。溶剤は表面をおかす場合がありますので使用しないでください。



住宅部品表示ガイドラインによる

クローゼット、可動間仕切壁 扉	
株式会社 パル	
ロット番号 梱包に表示	
F☆☆☆☆ (下地部分 F☆☆☆☆)	
ホルムアルデヒド 発散建築材料	発散区分
化粧合板	F☆☆☆☆
化粧MDF	F☆☆☆☆
PB	F☆☆☆☆
接着剤	F☆☆☆☆
03-5256-9801・9802	

3. 構成概略



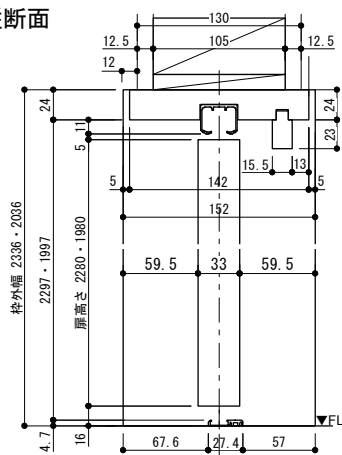
4. 枠同梱部品

No.	名称	イラスト	用途	数量		
				1.0間	1.5間	2.0間
1	ビスキャップ		ビス頭の化粧用	8	8	8
2	フレキビス (3.8×50)		枠組立用	8	8	8
			枠取付用	8	8	8
			上レール取付用	6	8	10
			予備	4	4	4
			計	26	28	30
3	サラビス (3.5×10)		下レール取付用	7	9	12
4	上レール			L=1632 1本	L=2446 1本	L=3260 本
5	下レール			L=1632 1本	L=2446 1本	L=3260 本
6	吊車			4	6	8

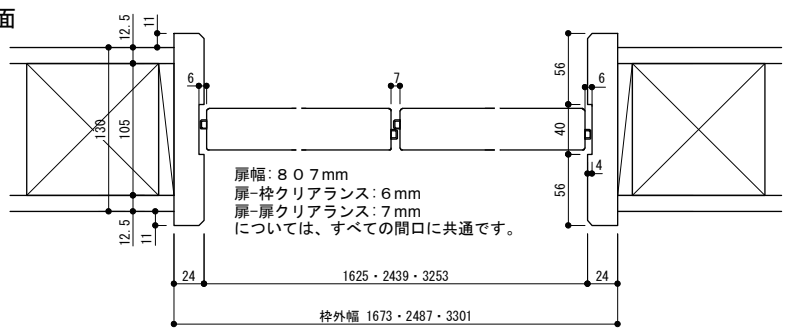
5. 納まり図・詳細図

■ 固定枠

縦断面

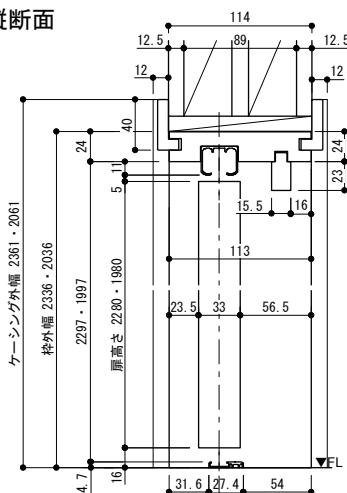


横断面

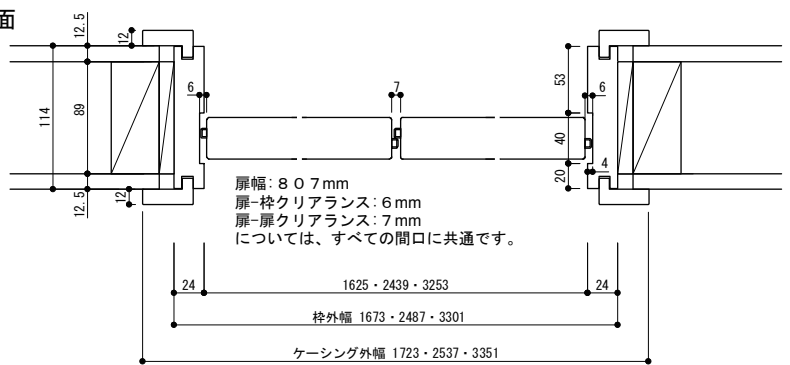


■ ケーシング枠

縦断面

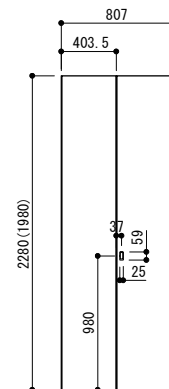


横断面

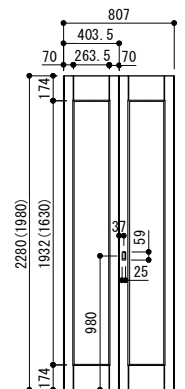


■ 扉姿図

・フラット扉



・採光扉

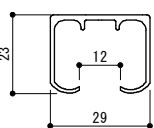


間口	W	枠外高さ		扉幅	扉高	扉数	有効開口※
		3方枠	2方枠				
1.0間	W1673	8尺	2336	807	2280	2折	1445
		7尺	2036				
1.5間	W2487	8尺	2336	807	2290	3折	2169
		7尺	2036		1980		
2.0間	W3301	8尺	2336	807	2280	4折	2893
		7尺	2036		1980		

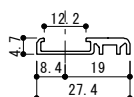
※折戸を片側に寄せた場合の標準設計寸法

■ 部品・部材

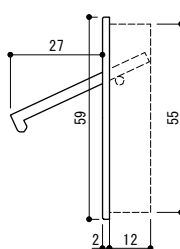
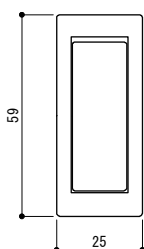
上レール



下レール



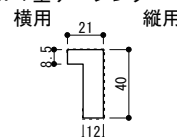
把手



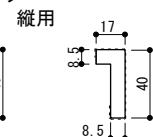
ケーシング

2 x 4型ケーシング

横用

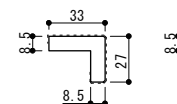


縦用

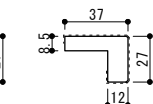


2型ケーシング

横用



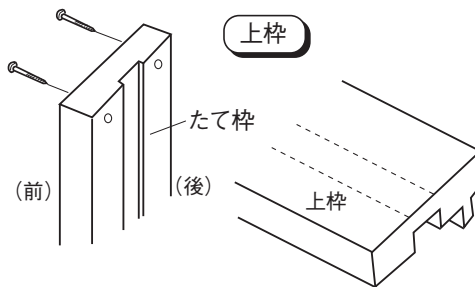
縦用



6. 施工方法

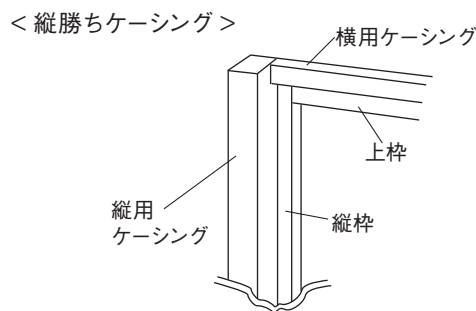
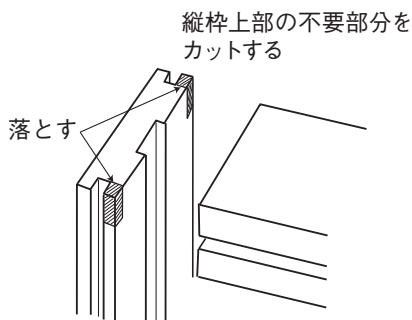
① 枠の組立

- 枠は水平な床の上で組み立てて下さい。
- 枠を付属のビス (3.8×50) で組み立てて下さい。



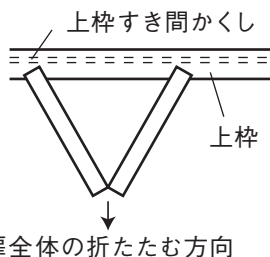
ケーシングを取り付ける場合

- ケーシングは所定寸法を採寸の上カットしてご使用下さい。
- ケーシングは、接着剤 (市販の酢酸ビニールエマルジョン系接着剤) と隠し釘を併用して取付けて下さい。
- 縦枠上部の不要部分をカットして下さい。

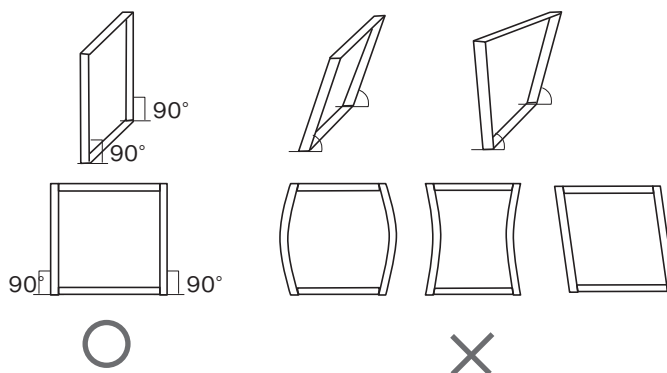
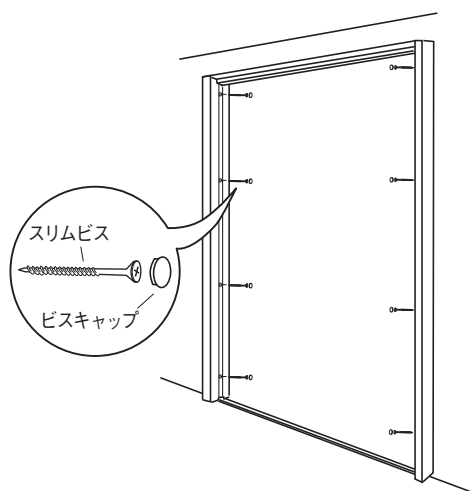


② 枠の取付

扉が折れる方が(前)、上枠すき間かくしがある方が(裏)になります。お部屋の設計状況に応じて設定の上、取付けてください。

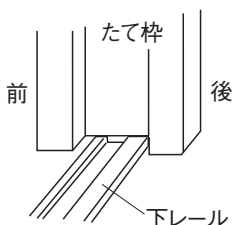


- 縦枠を付属のビス (3.8×50) で下穴から開口部に取り付けて下さい。
- 付属のビスキャップで穴にふたをして下さい。



① 注意 枠の水平・垂直は必ず水準器でご確認下さい。

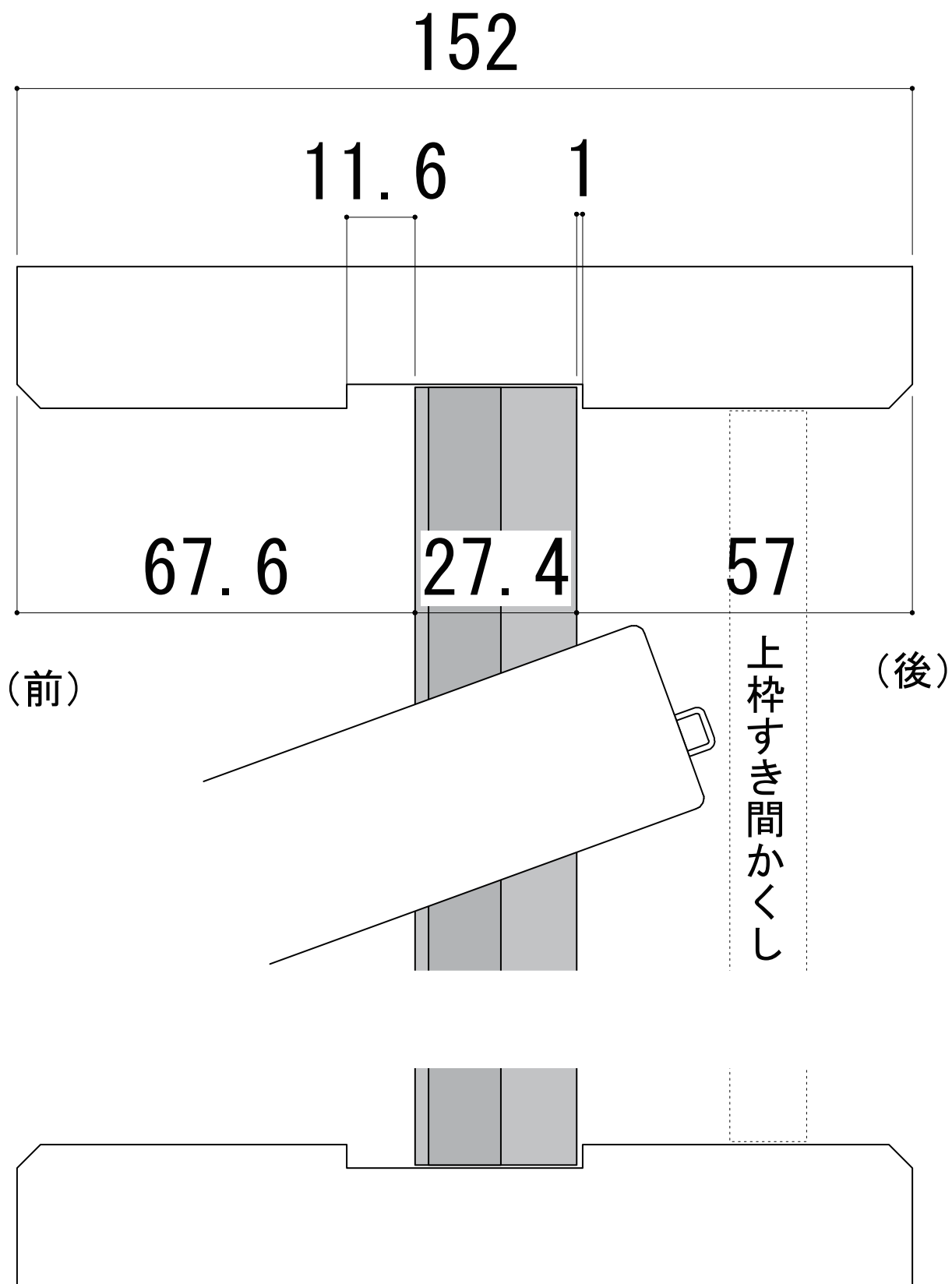
- 下レールを付属のコーススレッド (3.5×16) で床面に取り付けて下さい。



⑤⑥ ページの原寸図をご参照ください。

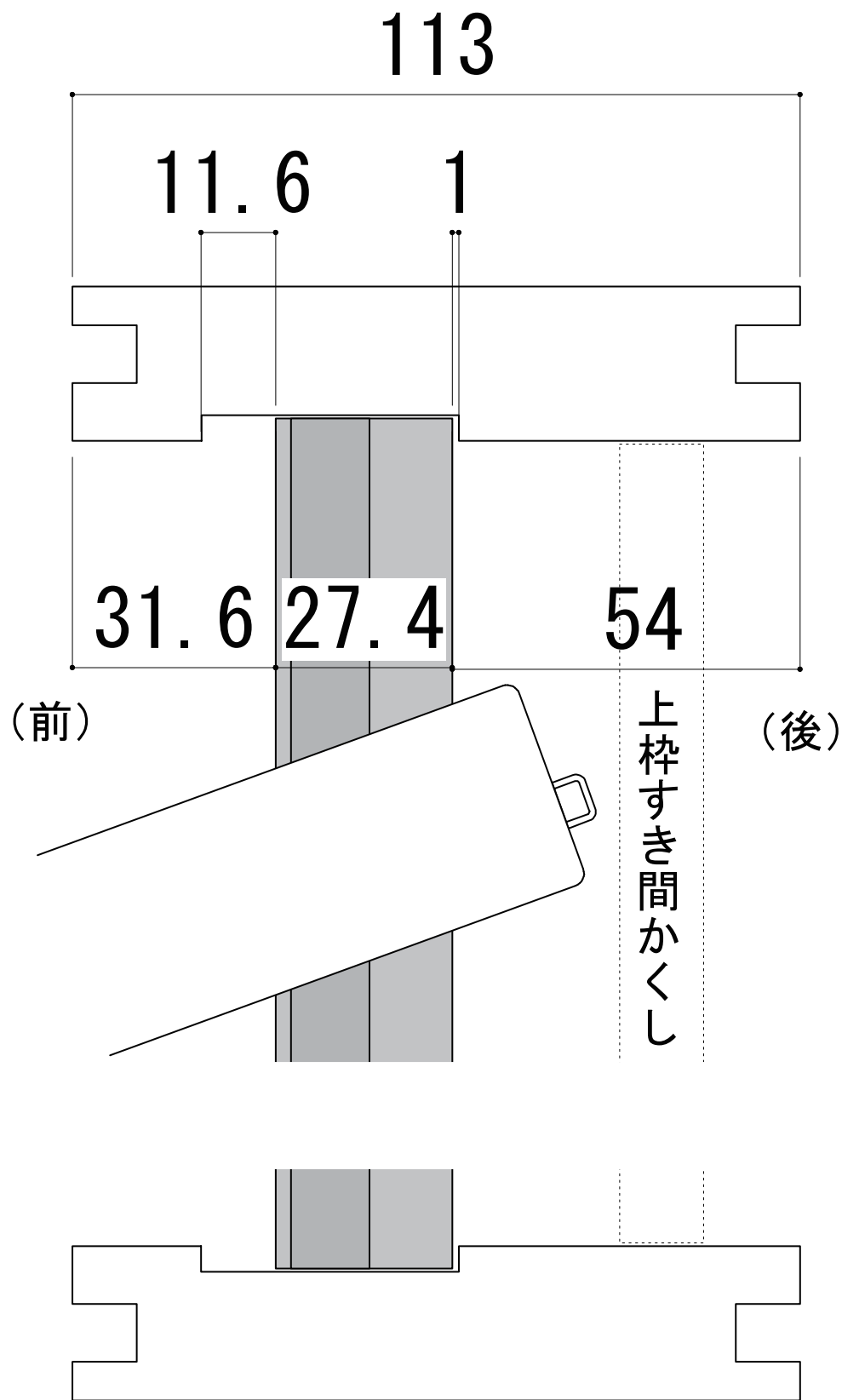
① 注意 下レールのビス頭は出っ張らないように取付けて下さい。

下レール取付位置
<固定枠 152mm>



原寸 (1 : 1)

下レール取付位置
<ケーシング枠 1 1 3 mm>

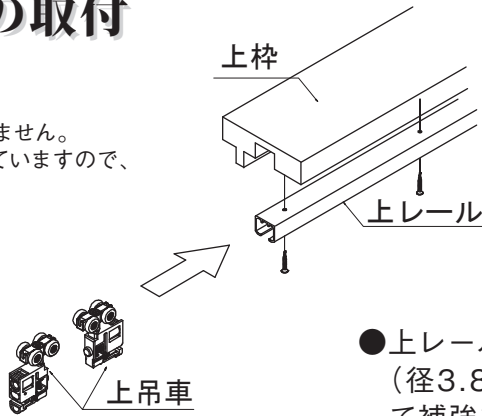


原寸 (1 : 1)

3 上吊車・上レールの取付

●上吊車を上レールに挿入します。

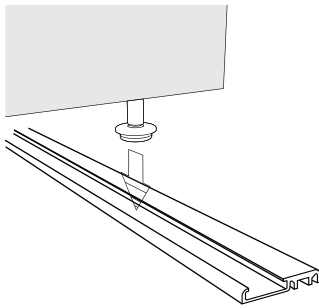
※上吊車の車部分は左右対称で方向性はありません。
また本体部分と車部分は回転軸で連結されていますので、
吊車は方向に関係なく取り付けてください。



●上レールは上吊車を挿入後、所定のビス
(径3.8×長さ51mm)にて上枠をかいし
て補強梁へ固定してください。

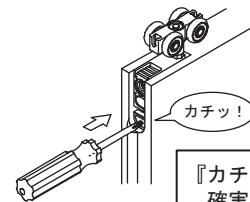
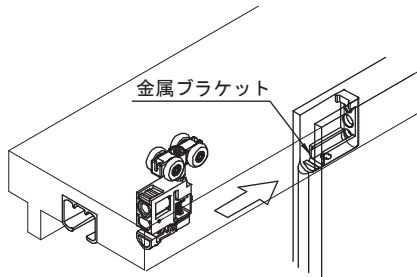
4 扉の吊込

●扉下部のガイドランナーを下レールに差し込みます。



扉本体に取り付けた金属ブラケットに吊り車を装着するときは、「カチッ!」と音がするまで吊り車を押し込んでください。

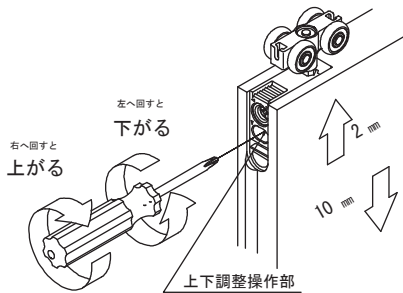
吊り車が装着しにくい場合や、「カチッ!」と音がするまで押せない場合はドライバー等を使って押し込んでください。



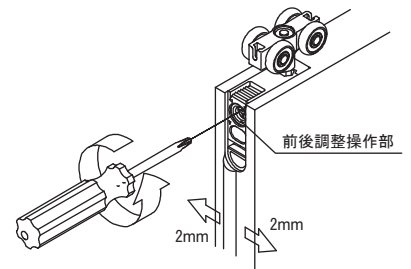
『カチッ!』と音がするまで
確実に差し込んで下さい。
確実に差し込まれていないと
扉が落下する可能性があります。

扉の調整

※扉の上下調整・前後調整は図のように
プラスドライバー(#2)で行います。
調整範囲は工場出荷の状態から上方
向へ約2mm、下方向へ約10mm前後
方向にはそれぞれ約2mmずつです。



扉の上下調整方法

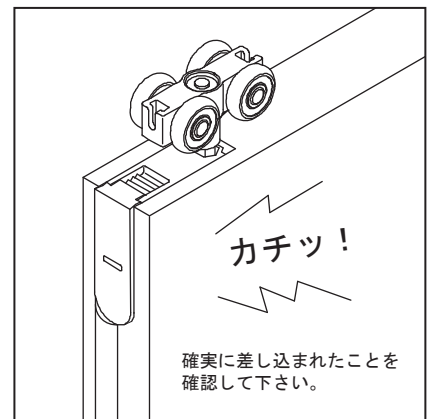
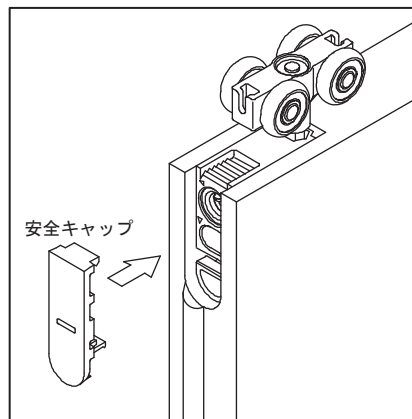


扉の前後調整方法

左右どちらかに回し
前後位置を決定して下さい。

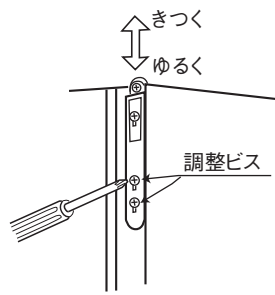
安全キャップの取付

※扉を吊り込み上下調整が完了した後に、
ブラケットと上部ローラーが外れないよう、
安全キャップを取り付けます。
安全キャップは『カチッ!』と音がする
まで確実に押し込んで下さい。



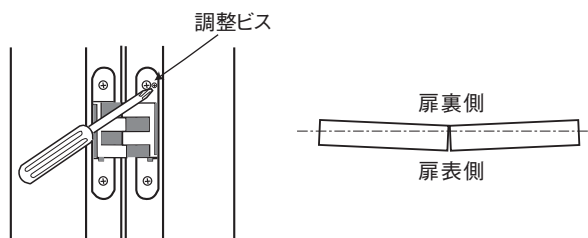
●扉の振れ止め金具の調整

- ・扉を閉めた時のキャッチ力を調整します。
- ・2本の調整ビスをゆるめて、振れ止め金具を上下させて下さい。



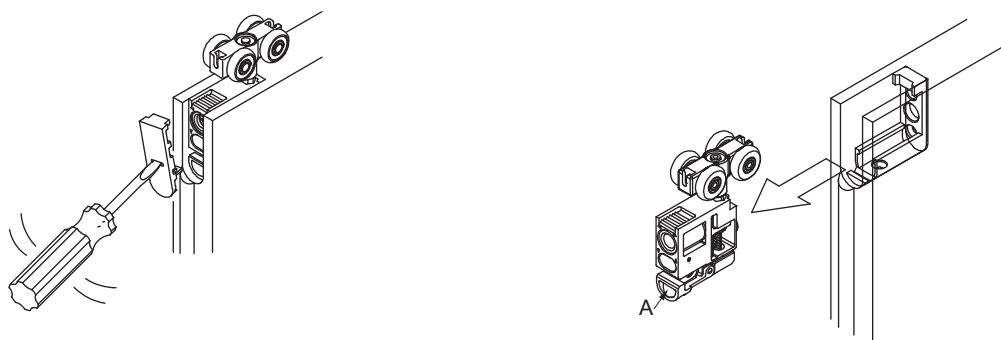
●扉の折れ具合（蛇行）の調整

- ・扉を閉めた時の前後の折れ具合を調整します。
- ・調整ビスを出っばらせると表面側に凸になります。
- ・横から見て、扉の凹凸を調整して下さい。



6 扉の取り外し

- 安全キャップを取り外し、Aのクリップ部分を押し上げながら吊車を手前に引くと外れます。
(注意)扉が転倒しないように支えながら作業して下さい。



7. 施工後の確認

- 扉・枠・吊車・安全キャップなどが確実に取り付けられていますか？
- 扉の開閉はスムーズですか？
- 商品の保護のため建築完了まで扉や枠を段ボールなどで保護して下さい。その際商品の表面に粘着テープ等は直接貼らないで下さい。
- 汚れは柔らかい布で拭き取って下さい。シンナーなど溶剤は使用しないで下さい。

お問合せはお買い上げ頂いた販売店もしくは最寄りの弊社営業所までお願い致します。

日本製紙グループ

株式会社 **JPL**

本社 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-3 日本大昭和板紙ビル
Tel 03-5258-9801・9802

<http://www.pal-g.co.jp>

東 関東 04-7140-1370
直 需 03-5256-9805

北 関東 048-680-5011
名 古屋 052-531-3600

西 関東 042-590-0321
西 日本 072-645-7108

南 関東 045-910-1665

販売委託：日本製紙木材株式会社

(北海道地区) 札幌営業所 011-241-0711
(山口地区) 岩国営業所 0827-22-1111

(東北地区) 石巻営業所 022-213-0635
(九州地区) 福岡営業所 092-586-5757

(北陸地区) 伏木営業所 0766-73-2025